

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】令和7年2月12日(2025.2.12)

【公開番号】特開2023-11083(P2023-11083A)
【公開日】令和5年1月24日(2023.1.24)
【年通号数】公開公報(特許)2023-014
【出願番号】特願2021-109766(P2021-109766)
【国際特許分類】
A 6 3 F 7/02(2006.01)
【FI】
A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

10

【手続補正書】
【提出日】令和7年1月31日(2025.1.31)
【手続補正1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項1】

第1位置と、その第1位置とは異なる第2位置とを少なくとも含む可動範囲で可動可能な可動手段と、
所定の判定を実行可能な判定手段と、を有した遊技機において、
前記遊技機は、
前記判定手段による前記判定の結果が特定の判定結果である場合に、前記特定の判定結果以外である場合に比べて、遊技者にとって有利とすることが可能であり、
前記可動手段を前記第1位置から前記第2位置へと可動させた後に特定期間が経過したことに基づいて前記第1位置に可動させるための処理を複数回実行させることが可能な第1制御を実行可能であり、
前記第1制御により前記可動手段を前記第1位置から前記第2位置へと前記判定の結果に応じた所定回数まで可動させた後の前記特定期間中に、第1条件が特定回数成立したことに基づいて特定条件を成立させることが可能であり、
前記特定条件が成立した場合には、前記可動手段を前記第1位置に可動させるための処理を実行させた後の期間において前記第1制御とは異なる第2制御を実行させることが可能であることを特徴とする遊技機。

30

【手続補正2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0006
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0006】

40

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、第1位置と、その第1位置とは異なる第2位置とを少なくとも含む可動範囲で可動可能な可動手段と、所定の判定を実行可能な判定手段と、を有し、前記遊技機は、前記判定手段による前記判定の結果が特定の判定結果である場合に、前記特定の判定結果以外である場合に比べて、遊技者にとって有利とすることが可能であり、前記可動手段を前記第1位置から前記第2位置へと可動させた後に特定期間が経過したことに基づいて前記第1位置に可動させるための処理を複数回実行させることが可能な第1制御を実行可能であり、前記第1制御により前記可動手段を前

50

記第 1 位置から前記第 2 位置へと前記判定の結果に応じた所定回数まで可動させた後の前記特定期間中に、第 1 条件が特定回数成立したことに基づいて特定条件を成立させることが可能であり、前記特定条件が成立した場合には、前記可動手段を前記第 1 位置に可動させるための処理を実行させた後の期間において前記第 1 制御とは異なる第 2 制御を実行させることが可能である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

請求項 1 記載の遊技機によれば、第 1 位置と、その第 1 位置とは異なる第 2 位置とを少なくとも含む可動範囲で可動可能な可動手段と、所定の判定を実行可能な判定手段と、を有し、前記遊技機は、前記判定手段による前記判定の結果が特定の判定結果である場合に、前記特定の判定結果以外である場合に比べて、遊技者にとって有利とすることが可能であり、前記可動手段を前記第 1 位置から前記第 2 位置へと可動させた後に特定期間が経過したことに基づいて前記第 1 位置に可動させるための処理を複数回実行させることが可能な第 1 制御を実行可能であり、前記第 1 制御により前記可動手段を前記第 1 位置から前記第 2 位置へと前記判定の結果に応じた所定回数まで可動させた後の前記特定期間中に、第 1 条件が特定回数成立したことに基づいて特定条件を成立させることが可能であり、前記特定条件が成立した場合には、前記可動手段を前記第 1 位置に可動させるための処理を実行させた後の期間において前記第 1 制御とは異なる第 2 制御を実行させることが可能である。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】9184

【補正方法】変更

【補正の内容】

【9184】

10

パチンコ機（遊技機）

900

第 61 制御例における可動役物（可動手段）

S303L

判定手段

10

20

30

40

50